

【ご意見等】周布川の氾濫危険水位超過や市の危機管理について緊急のお願い（R3.9.15 受付）

今年8月9日と8月14日に浜田市を流れる周布川（周布川）が増水し、どちらも中場の水位が氾濫危険水位（3.2m）を超えています。また、今年8月9日には中場の最高水位は3.87m、平成29年7月5日にも3.83mを記録し、氾濫開始相当水位3.98mに迫っています。

今月の議会での一般質問でも複数の議員が大長見ダムの洪水調節について、「大丈夫なのか？」や「堤防のかさ上げが必要ではないか？」といった質問をしましたが、都市建設部長は「ダムの貯水率は3割以下であり、十分機能している」、「堤防の改修は終わっている。心配がある箇所は伺っていない」と答弁なさっています。

大長見ダムは多目的ダムで治水と利水を目的としています。治水については100年に1度のような大雨が降っても、下流が氾濫しないような安全な水量を放流しながら、ダムが溢れるまで時間をかせぐ必要があります。しかし大長見ダムは、いっぱいになって上から溢れる貯水位（サーチャージ水位）は標高180mなのに、今年8月9日の中場の最高水位3.87mの時点でも、ダムの最高貯水位は標高164.11m、平成29年の7月5日の最高水位3.83mの時点でも、ダムの最高貯水位は標高165.09mであり、ダムはまったく溢れる心配がないのに、下流が氾濫しそうになっています。この原因は、大雨だけではありません。

大長見ダムは、島根県の周布川水系河川整備基本方針（平成17年）に整合した洪水調節能力を持ち、設計どおりの放流をしています。しかし、この河川整備基本方針というものは、20～30年後に整備されていることが望まれる内容だそうです。県は県内の河川の基本方針の実現に向けて、「河川整備計画」を策定して整備を進めてきました。市内では浜田川と三隅川に「河川整備計画」があります。しかし、周布川は「基本方針」は定めたけれど「河川整備計画」を定めていませんので、基本方針が想定する堤防の高さや川幅になっていないと思われます。具体的には、基本方針では100分の1の確率で起こる大雨の時、中場の観測所地点での最大流量を1,170トン毎秒と想定しており、その場合、中場の水位計は6mを超えます。現状は中場の水位観測地点は低い方でも堤防が7m以上あるのですが、氾濫開始相当水位は、3.98mであり、これは中場の観測所が3.98mを超えると、他の場所（堤防や道のもっと低い場所）が氾濫開始すると思われる水位です。

大長見ダムは100分の1の確率で起こる大雨時に1,090トン毎秒流入しても540トン毎秒を貯水し550トンを超えて放流するという能力ですが、下流の堤防や道路はそれに耐える高さが無いということです。下流が氾濫しない程度に安全な水量（過去の水位の上昇から、150トン毎秒より少ないのでは？）を放流しつづけ、あふれなにかぎり（あふれると流入量＝放流量となり洪水調節機能を失う）は有効貯水容量を使って時間を稼ぐはずのダムは、貯水位が上がるほどの洪水調整を行っておらず、整備のすすんでいない下流はその水量に耐えられないということです。

市は5年で3回氾濫危険水位を超え、2回も氾濫しそうになっている川について、ただちに原因を検証したり、対策を県に要請したりしていません。ダムに求めるべ

き必要な洪水調節量は現状の下流の状態に合わせるべきかもしれませんが、市はそうした認識が無く、「ダムの貯水率は7割余裕があった。十分機能している」「かさ上げは終わっている」と道下議員に答弁しています。ダムが余裕があっても下流が溢れそうになったことに疑問をもっていないと思われる答弁です。ダムが溢れないことがダムの目的ではありません。「下流の氾濫を避けること」が、ダムの大きな目的であることを市に理解して欲しいと思います。

「今回も結果的に溢れなかったから、問題ない」としてはいけないと思います。特に8月9日は水位の上昇スピードが速く、降雨が少し多かったり長ければ、避難を開始した頃に氾濫していたと思われます。

- ・ダムの貯水率に余裕があるのに下流が溢れそうになる原因の調査
 - ・周布川の河川整備基本方針の現状との差の確認
 - ・周布川の河川整備計画の予定
 - ・氾濫の危険を下げるための有効な手段
 - ・氾濫警戒情報や氾濫危険情報の伝達について、气象台から市が受けてから2時間近く経って住民に伝達していたり、8月14日には伝達自体を行わなかった理由
 - ・浜田市地域防災計画について、必要な修正や厳格な運用が行われていないこと
- 以上のような事は市民の安全に関する重要な内容で、かつ緊急性が高いと考えます。

議長が市議会ホームページのあいさつで書いていらっしゃるように、「安心して暮らせるまち」の実現に関わると考えます。

議会全体としてチェックし、意見をまとめて、執行部に改善や再発防止を求めることを行っていただけないでしょうか。

【回答】周布川の氾濫危険水位超過や市の危機管理について緊急のお願い (R3.9.17 回答)

ダムの洪水調節対策や河川整備につきましては、特に下流付近の住民の皆さんには重要な災害対策であると考えますので、県とも十分連携されるよう、私から執行部へ働きかけました。

災害時の市民への情報伝達などに関しましては、9月7日にいただきましたご意見への回答のとおりです。